



「作新力」プロジェクト

「作新力」で、環境をまもり、未来をつくろう。

作新学院ペットボトルキャップ300万個回収達成について

(ポリオワクチン3,750人分 CO2 23625 kg (23t) 削減)

平成20年から活動してきたペットボトルキャップ回収活動で300万個達成いたしましたことをご報告いたします。平成24年1月20日に開催された報告会の様子が新聞に掲載されました。

多くの方々のご協力ありおがとうございました。また、今後とも引き続きご協力よろしくお願いたします。

毎日新聞掲載
(1月21日(土)21面)

通算300万個達成

作新学院
ペットボトルキャップ回収 途上国支援で

環境保護や途上国の子どもたちの支援を目的に、4年前から作新学院(宇都宮市一の沢)が収集しているペットボトルのキャップが通算300万個に達

これまで集めたキャップは約300万個で、計2万3825ポンドのCO₂の削減につながる。さらにミャンマーやラオス、インドネシアなどの発展途上国の子どもたち計37

50人にポリオワクチンを届けることができる。既に約247万個分をワクチンとして届けており、今回の収集分約55万個は宇都宮市の社会福祉協議会を通じて途上国に送る。15年には通算500万個達成を目指している。

船田恵院長代理は「小さな子どもでも世の中のためにできることを継続的にできる活動」だと話した。高橋部3年の磯雄太郎さん(18)は「飲み終わったら必要のない物から人の命が助けられる。誇りを持って続けていきたい」と意気込んだ。

【長田舞子】

「08年5月に収集スタート。幼稚園・高等部の生徒約4800人と教職員、保護者らが集め続けてきた。キャップ800個を焼却する

20日に同学院で報告会が開かれた。

ピアノ買取
びあのぶらす 様
0120(517)666
ピアノプラス

キャップを集めた作新学院の生徒ら 宇都宮市の作新学院で

下野新聞掲載
(1月21日(土)22面)

ボトルキャップ回収300万個達成

宇都宮 作新学院で報告会

取り組んできたペットボトルのキャップが17日、累計300万個に達し、20日に達成報告会が同校一の沢キャンパスで開かれた。

子どもたちの未来を創造する「作新力プロジェクト」の一環で、キャップの売却益で開発途上国の子どもたちにワクチンを届けようと、2008年から回収ボックスを設置するなどして回収活動を行ってきた。20日現在、302万4635個が集まった。キャップ300万個はポリオワクチン3750人分に相当する。

報告会には船田恵院長理事ら約20人が出席し、達成までの報告などが行われた。

回収作業を担当した同高情報科学部の磯雄太郎君(18)は「一瞬、児童生徒、地域の力が結集して集めることができると、経済格差がある国の子どもたちを少しでも助けてあげられたらうれしい」と話していた。

今後は創立130周年を迎える2015年に500万個達成を目指すという。

「作新力」プロジェクト
ペットボトルキャップ回収
300万個達成
012-1-20

キャップ300万個回収を達成した作新学院の編入、児童生徒たち